

Activity report



岡山県女性医師キャリアセンター運営事業
岡山で輝く! 女性医療人キャリアサポート



2024年度

活動報告書

岡山大学病院
ダイバーシティ推進センター

〒700-8558
岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学病院 中央診療棟 5F

TEL 086-235-6835

E-Mail muscat@okayama-u.ac.jp

Medical professions'
Universal
Support and
Career development with
Active
Teamwork

プロジェクトの概要と運営

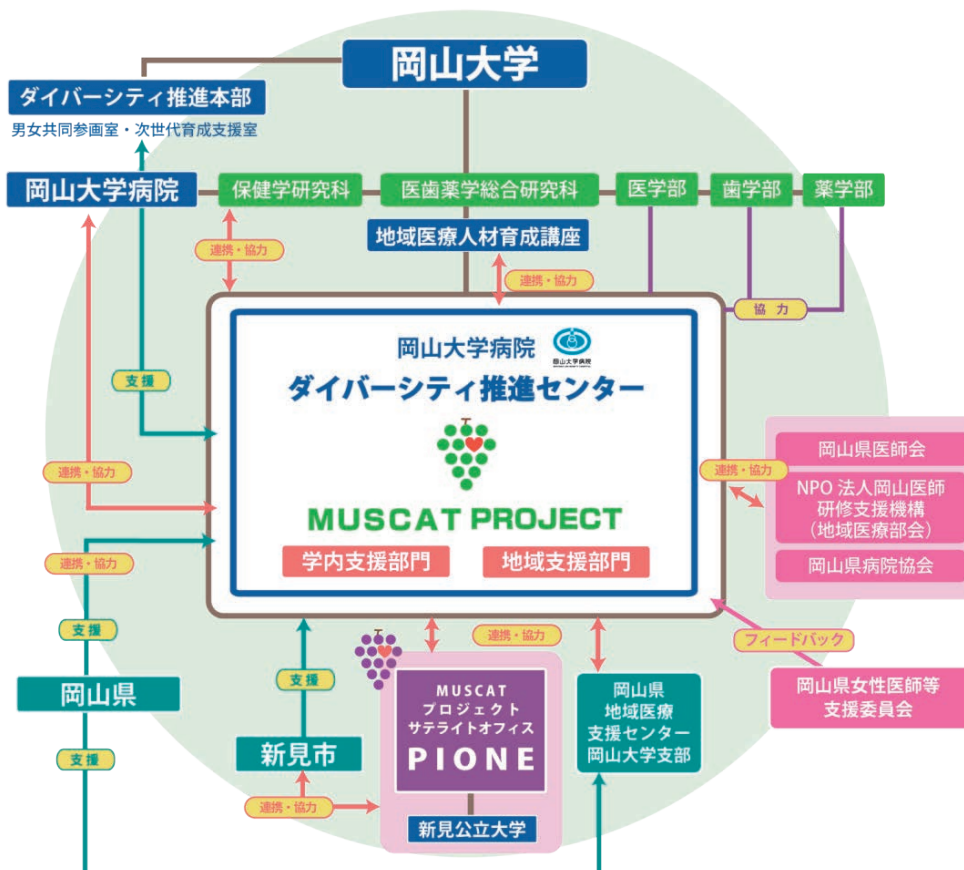


2007年度より文部科学省医療人GPの採択を受け開始した女性医療人支援の取り組みは、2010年度より岡山県女性医師キャリアセンター運営事業として新たなスタートをきりました。岡山大学大学院医歯薬学総合研究科において「医療人キャリアセンター MUSCAT」を設立することにより、学内はもとより広く岡山県下の医療人に対象を拡大し活動を展開して参りました。臨床現場定着を目指した活動としては、先輩から後輩へ知識と経験を伝えるネットワークシステム、臨床現場復職を目指した取り組みとしては個別のニーズに沿った復職プログラムと生涯学習システムを活動の柱とし、岡山県、岡山県医師会、岡山県病院協会、岡山県地域医療支援センター、NPO法人岡山医師研修支援機構などの岡山県下の様々な組織や施設と連携し進めています。さらに、2014年度には新見市からの寄附もいただき、新見公立大学内にキャリアセンターサテライトオフィスPIONE (Productive, Interactive, Okayama, Niimi, Empowerment) も設置され、県北地域に根差した活動を行っています。現在は、2020年岡山大学病院に新設された「ダイバーシティ推進センター」が「医療人キャリアセンターMUSCAT」を統合し、MUSCATプロジェクトの運営を継続的にを行っています。

1 全体概要図



2 運営組織



■プロジェクト 運営スタッフ

MUSCATプロジェクト責任者	藤井 智香子	岡山大学病院ダイバーシティ推進センター 講師 岡山大学病院小児心身医療科 医師
PIONEプロジェクト責任者	溝尾 妙子	医療法人思誠会 渡辺病院 副院長 新見公立大学 非常勤講師
MUSCATプロジェクト教育企画責任者	小比賀 美香子	岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学分野 講師 岡山大学病院総合内科・総合診療科 医師
MUSCATプロジェクト事務局 (相談室担当)	早瀬 佳子	岡山大学病院ダイバーシティ推進センター 事務職員 (国家資格キャリアコンサルタント)

2024年度 MUSCATプロジェクト活動報告書

MUSCAT: Medical professions' Universal Support and Career development with Active Teamwork

岡山大学病院ダイバーシティ推進センター

1. キャリア相談事業

① キャリアコンサルタントによる相談窓口および医師コーディネーターによるキャリア相談と復職支援

2023年度から学内のアクセス至便な場所に専任キャリアコンサルタントが担当する相談窓口を設けたことで、女性医師等による医療現場のニーズを把握し、キャリア相談事業の拡充を図ることができた。今年度も相談室を常時開室するとともに、大学病院キャリア支援制度利用者と復職希望者に対しては、医師であるコーディネーターによるさらなる手厚いキャリア支援を実施する。

⇒岡山大学病院キャリア支援制度利用者34名に対して、年間を通じて病院ダイバーシティ推進センターが窓口となり、勤務に関する人事・労務相談などのサポートを行った。【資料①】

10月より次年度の大学病院キャリア支援制度利用者を募集する広報を開始した。プロジェクト責任者から岡山大学病院の全医局に次年度のキャリア支援制度利用を打診し、利用を検討したい医局に対して、医師コーディネーターから個別説明会を実施した。10月下旬から11月中は、各医局からキャリア支援制度にエントリーした医師37名に対して、医師コーディネーターによる個別キャリア面談を行った。今年度に引き続き来年度の継続利用希望者23名に加え、現在、育児休業中や学外医療機関勤務中の方からの新規利用希望者10名の計33名の医師が、2025年度のキャリア支援制度(医師支援枠)に登録される結果となった。

1人分の勤務を同一診療科の複数名でシェアして働く「ワークシェアリング制度」では、4月の時点では1診療科のみの利用であったが、年度途中に、フルタイム勤務が困難な医師からのキャリア相談を受け、同診療科の短時間勤務可能な医師との週の勤務時間調整を経て、新たに1診療科が加わり、計5名の医師の利用となった。【資料②】

病院ダイバーシティ推進センター内に設置された「職員・学生のための相談室」の今年度相談件数はのべ393件であった。相談経路は、相談室のセンター内(病院中央診療棟5F)への移転により、医学科の低学年の学生にとってのアクセス利便性が低くなったことから、walk in での利用は前年度の約4割となった。代わりに、Eメールでの相談件数が192件と半数近くを占める結果となった。しかしながら、看護師、歯科医師等を含む医療従事者にとっての利便性は高くなったことから、相談件数の総数は前年度比114%と増加傾向となった。【資料③】

② 研修・復職に関する情報提供

復職受入医療機関に関する幅広い情報収集を行い、MUSCAT プロジェクトのホームページ上に掲載すると同時に、復職希望者の各々のニーズに応じた的確な情報提供を行う。

⇒MUSCAT プロジェクト公式ホームページ(<https://www.okayama-muscat.jp/icommunity/>)上に、「MUSCAT 復職支援協力医療機関」の情報を掲載し、随時情報更新を行うことで、県内の医療機関での勤務を希望する医師がいつでも閲覧できるようにした。また、医療機関からの依頼に応じて、同ホームページ上に、医師の求人情報を掲載するとともに、「岡山 MUSCAT の会」のメーリングリストにより Eメールでの情報共有も行った。

③ 岡山 MUSCAT の会(最適助言者紹介システム)の運営

キャリア相談室とMUSCAT メールに相談を寄せた方々に対して、医師(医学生含む)によるサポートネットワーク「岡山 MUSCAT の会」の中からメンバーを募り、最適助言者(メンター)を紹介する等、MUSCAT ネットワークを最大限に活用したキャリア支援を行う。また、学内外から講師を招き講演会やワークショップ等を企画、開催する。

⇒ 第15回 MUSCAT フォーラム『医療者のウェルビーイングを高めよう～自分と仲間と患者さんの幸せを目指して』は、当年度施行の医師の働き方改革」に合わせて、職員の仕事への満足度の向上とウェルビーイングの改善の観点から特別講演を企画した。臨床心理士、公認心理師として医療や司法の現場において、支援者が心を守り、よりよい支援をするための認知行動療法を提唱される中島美鈴先生にご登壇いただいた。『医療現場で働く人のための認知行動療法～自分のための時間を作る方法』というテーマで1時間半に及ぶ熱のこもった講演となった。

認知行動療法は、人の気分や行動は物事に対する見方の影響を受けるという認知行動モデルに基づき、問題解決につながる柔軟な考え方や健康的な行動パターンに修正を図ることで気持ちを楽しむ心理療法の1つである。自分自身で実践できるセルフケアの技法としても有用であるため、参加者の方の大半が対人援助職であり、各々の職業に特有のストレスを軽減できる方法を知るよい機会となったことが、アンケートの自由記述からも明らかである。

フォーラムでは、MUSCAT プロジェクトの趣旨説明も行い、また、恒例となっている2024年度 MUSCAT 優秀指導医賞ならびに若手医師奨励賞の発表と表彰も行った。

学内から69名、学外から37名の計106名の参加申込みがあり、その84%が医療職の方々であり、休日のオンライン開催のメリットを活かすことのできる結果となった。【資料④】

④ 交流ミーティングによる子育て世代に有意義な情報交換と地域活動

職種の壁を超えた交流ミーティングを開催し、特に子育て世代の医師等が自由に情報交換できる場を提供するとともに、地域での活動の活性化を促進する。

⇒ スケジュールが厳しく、年度中に当プロジェクト主催の子育て交流会を開催することができなかったため、次年度の開催に向けて準備することとなった。

「岡山 MUSCAT の会」のメンバーが、勤務先において子育て交流会をされるとのご報告をいただいたため、MUSCAT プロジェクトの資料をお送りすることで、参加者の方々への情報共有を図っていただいた。

また、「研究とライフイベントの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成に取り組むとともに、若い世代がやりがいをもってキャリアを重ねられるように」という目標を掲げ、「女性が輝く街・岡山」地域に根差した活動組織「WePRO」が3月9日に Junko Fukutake ホールで開催された「第1回 WePRO フォーラム」を岡山大学病院ダイバーシティ推進センターとして共催したことを特筆する。子育て世代に限定した企画ではないが、各分野で各世代の「岡山で活躍する女性のキャリアを支援する」という点で当プロジェクトの理念にも通ずるため、フォーラムの広報活動や当日の運営スタッフとしての協力を行った。

⑤ 託児可能なスペースの設置と専任保育士の配置

病院中央診療棟ダイバーシティ推進センター内に設置している託児スペースで、専任保育士・看護師による託児を実施する機会を増やすことができた。今年度はさらなる環境整備を行い、託児利用者を増やすことで、子育て中の医師が復職準備やシミュレーショントレーニング等に積極的に参加できる環境の提供を行う。徴収した料金(半日利用2,000円)は本事業の推進にのみ使用することとする。また、同スペースにおいて、小学校や学童施設が臨時休校となった場合の学童預かりも実施する。

⇒ ダイバーシティ推進センターに隣接する「ぴおーね保育ルーム」で、「令和6年度岡山市登録保育施設」の認可を受け、専任の保育スタッフによる岡山大学病院一時託児事業と、外部託児事業者からの派遣シッターによる一時託児事業を実施した。現在は、夜間保育専任看護師と院内設置のますかつ病児保育ルームとの兼務である保育士の計3名が保育を担当している。利用対象者は、岡山県内の医療機関に勤務中の女性医師、岡山大学病院で勤務中の医療従事者、医療系学生としている。

今年度、院内保育スタッフによる一時託児事業の年間利用件数は、学内医師39件、学外医師8件の計47件であった。一方、外部事業者委託による一時託児事業の年間利用件数は、学内医師1件、学外医師15件の計16件であり、いずれも前年度の利用件数を上回っている。【資料⑤】

⑥ マタニティ用白衣・スクラブ・パンツのレンタルサービス

県内で勤務する妊娠中の女性医師に対し、メディカルマタニティウェアのレンタルサービスを行う。

⇒ 今年度は、医師8名、歯科医師4名、歯科技工士1名の計13名の医療従事者の方にマタニティメディカルウェアのレンタルサービス(無料)を行った。試着可能な来室での貸出をお勧めし、来室時には、キャリアコンサルタントが出産後のキャリアプランをうかがい、「岡山 MUSCAT の会」へのメンバー登録を推奨した。「岡山 MUSCAT の会」会員には、MUSCAT プロジェクトによるセミナーや復職支援に関する情報提供を行っている。【資料⑦】

⑦ 医学科生に対するプロフェッショナリズム教育の実施

岡山大学医学部医学科の学生(1年生～5年生)に対してプロフェッショナリズム教育を実施することで、学部入学直後からプロフェッショナルな医師について考え、社会的使命感を持って医師に必要な資質と能力を身につけることができるキャリア形成を促すものとする。

⇒ よき医療人になるためには、医学知識・臨床技能・臨床技術の修得はもちろん、人間性、説明責任、職業倫理の確立と尊重が求められる。岡山大学医学部医学科では、1年次～5年次まで一貫してプロフェッショナリズム教育を行っている。1年生から5年生までの全学生を対象の「プロフェッショナリズムⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」をダイバーシティ推進センターが担当し、医師になる上で必要な素質や、学部生の間に取り組むべきことについて考えを深め、プロフェッショナルな医師としての自覚や意識を涵養する機会となった。

今年度は基本的に対面授業で開講したが、学外実習中の学生が大半である医学科5年生対象の「プロフェッショナリズムⅤ」はオンライン講義として設定した。海外在住の講師の講義については、講師在住の現地からオンライン配信していただき、学生は講義室でリアルタイムに視聴する双方向のライブ配信形式とした。

⑧ 岡山県医師会 女子学生インターンシップ後援

岡山県医師会が実施する女性医師が診療を行う医療機関でのインターンシップ事業に後援を行う。インターンシップに参加者のリクルートを岡山大学医学部医学科学生から当プロジェクトで行う。

⇒ 3月末に岡山県医師会からのダイバーシティ推進センター宛に参加者募集依頼があった。事業への後援依頼に関しては、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等総務課で協議の結果、学部生対象の事業であるため「岡山大学医学部」の後援とすることと決まった。

当初は「女子医学生インターンシップ事業」として女子学生を対象としていたが、ダイバーシティを推進する医療人材の育成という本事業の趣旨を踏まえ、性別を限定しない形での募集が望ましいと考えられた。また、男子学生にとっても女性医師の勤務実態を見学することが、将来の職場環境やパートナーの働き方への理解を深める機会となることから、男子学生の参加も認めていただきたい旨をプロジェクト責任者より申し入れた。後日、県医師会から、性別問わず応募可となったこと、また、「医学生インターンシップ事業」と名称変更していただけたとの回答を得た。

学内で、医学科生全員へのEメール送付、学内掲示板へのポスター掲示、「職員・学生のための相談室」来室者への情報提供の3つの手段で広報活動を実施した。本学の医学部医学科1年から4年生計14名の応募があり、夏季休暇を利用して、インターンシップに参加することができた。

2. 研修事業

① 復職支援プログラム

女性医師等の復職研修受入を可能とする医療機関において、研修プログラムを作成し、指導医の適正な指導のもと、復職希望者各人のニーズに応じた研修プログラムを構築する。

⇒今年度は復職支援プログラムについて1件の問い合わせがあったものの、ご家庭の事情により研修プログラムの利用は断念されることとなった。

② シミュレーショントレーニング

シミュレータを用いたチーム医療シミュレーション、急変時シミュレーション、技能トレーニング、在宅医療シミュレーションなどを定期的に行い、現場復帰の準備を行う。

⇒新見地区において、「2024年度 PIONE プロジェクト活動一覧」に示す通り、看護師や介護福祉施設職員を対象とした、急変時対応のトレーニング、FD コース修了の看護師を対象とした指導者養成のためのトレーニング等を開催した。【資料⑧】

③ 講習会

復職前から、医療知識の短期集中講座を開講する等、知識面のサポートを行うことで、最終的には、「地域の医療機関で一般内科外来（診察）ができること」を目指した復職後のカリキュラム設定と実施を行う。

⇒今年度、対面による講習会は実施を見送ったが、復職した女性医師に専門書の購入補助を行った。

④ MUSCAT 講義・セミナー動画ライブラリー

MUSCAT プロジェクトに係る講義動画やセミナー動画をライブラリーとして提供することで、遠隔地においてもいつでも都合のよい時に視聴可能なシステムを構築する。

⇒MUSCAT プロジェクト公式ホームページから、医師（学内・学外）、研修医、医学生などが自宅で視聴できる講義動画やセミナー動画のライブラリーを公開した。また、MUSCAT 会員のメンバーには、学外でも医学文献の検索が可能である「メディカルオンライン」のID発行のサービスを行った。

3. 環境整備事業

① Web 会議やオンライン研修に資する環境整備

コロナ禍で増加した様々な Web 会議やオンライン研修の増加に伴い、スペースの確保という新たな課題が生じた。子育て世代の医師においては、その際の託児スペースの確保も必要である。前述のセンター内に設けた託児スペースに隣接し、Wi-Fi 環境を完備した自習室を新たに設け、利用者のさらなる増加を図り、継続的に、女性医師等の勤務と子育ての両立支援に資する環境を整備する。

⇒前述のダイバーシティ推進センター隣接の「ぴおーね保育ルーム」は、Wi-Fi 環境を完備した自習室としての利用を可能としている。本スペースを利用して育児中の医師がオンライン会議を行うことができた。【資料⑥】

② 子育て中の医師の日直・当直業務支援

2023 年度よりこれまで看護師対象であった夜間保育について医師へも対象を拡大した。また 2023 年度からは日直医師に対して託児室の提供を行い、子育て中の医師も日直業務を担うことができるよう支援を行った。今年度もそれぞれの医師の状況に応じて相談しながら日直当直などを担うことができるよう支援を行っていく。

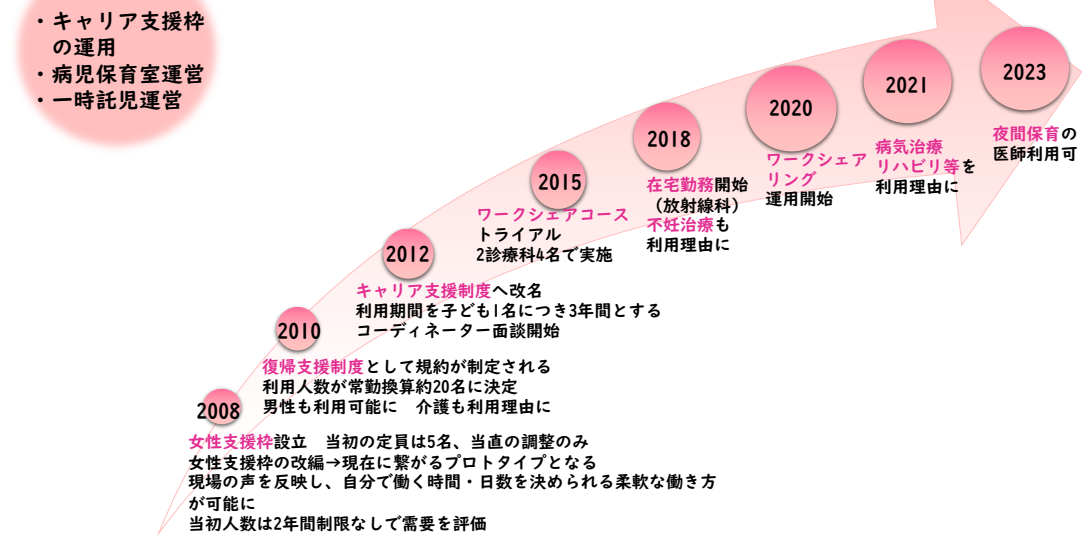
⇒昨年度より、看護師だけではなく、医師を始め、夜間勤務を行う全ての医療従事者を夜間保育の利用対象者とするように規定を改めた。看護部に加えて、薬剤部や医師の所属する各医局への説明会を実施し、また、病院勤務の全職員にEメールで夜間保育に関する情報を送ったり、各部署にポスターを配布したり、定期的に保育ルーム見学会を実施する等の広報活動を行った。「夜間勤務のシフトを調整するためにスタッフに利用してほしい」という部局長などからの意見が多かったものの、今年度の利用者はいなかった。今後はこの事業の周知を図り、将来的に当直が可能であることを意識しながらキャリアプランを立ててもらうことで、利用する医師が現れると考えられる。また、子育て中の日直業務を行う医師に対する支援として、「日直時一時託児」の提案を行い、広報ポスターを作成するとともに、EメールやMUSCATプロジェクト公式ホームページで周知を行ったが、今年度は日直時に子の預け先がなく託児を利用した医師はいなかった。

夜間保育および日直業務中の託児室提供の両支援は、子育て中の医師が安心して日直・当直に取り組むための不可欠な仕組みとして、継続を求める声が多方面から寄せられている。バックアップ体制があることで、当制度を利用しなくても日直・当直に取り組むことができる医師を増やしていると考えられる。次年度に向けては、単に「支援の仕組みがある」というだけでなく、実際の利用につながる体制整備は今後の課題となる。その実効性や運用の在り方について見直ししながらより多くの医師の働き方をサポートできるような体制を構築したいと考えている。

◆2024年度 プロジェクト参加人数

	人数	開催日	備考
◇講演会・セミナー			
第15回岡山MUSCATフォーラム	106名	2024年10月19日	学内69名、学外37名
第7回天晴れ女性医師リーダー養成ワークショップ	47名	2024年12月15日	WEB参加30名、会場参加17名
◇次世代育成イベント			
第2回新見子どもメディカルラリー	小学生14名	2024年12月15日	ボランティア 53名(学生22名含む)
◇シミュレーショントレーニング			
介護施設職員対象：第22回シミュレーション トレーニングin新見	10名	2024年7月20日	
医療従事者対象（職種問わず）：新見シミュレーショントレーニング指導者養成コース	7名	2024年11月9日	
看護師対象：第23回シミュレーション トレーニングin新見	9名	2024年12月21日	
◇まさかっ保育ルーム利用			
学内保育士による一時託児	のべ47名	2024年度	
外部業者による一時託児	のべ16名	2024年度	
（土曜日）日直時の託児	0	2024年度	
（オンライン対応）自習室としての利用	のべ11名	2024年度	
妊娠時の休憩室としての利用	2名	2024年度	
◇妊娠期サポート			
マタニティウェアレンタルサービス	13名	2024年度	学内123名、学外1名

「働く」を支える
キャリア支援制度の確立



◇2024 年度 岡山大学病院キャリア支援制度利用状況 (名)

利用者の集計	新規利用者	前年度からの 継続利用者	前年度末までの 利用終了者	利用者の累計
医員(医師支援枠)利用者	12	15	176	203 (男性 4 名含む)
キャリア支援コース (レジデント)利用者	0	0	11	11

医員(医師支援枠) 診療科ごとの利用内訳 (名)

	総合診療科 総合内科・ アレルギー内科	呼吸器・ アレルギー内科	内分泌内科 腎臓・糖尿病・ 内分泌外科	乳腺・ 内分泌外科	循環器内科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	麻酔科蘇生科	小児科	小児神経科	放射線科	産科婦人科	形成外科	センター枠	合計
新規	1	1	0	1	0	0	2	1	0	0	1	2	1	1	1	12
継続	0	0	2	1	2	2	0	0	3	3	0	1	0	0	1	15
合計	1	1	2	2	2	2	2	1	3	3	1	3	1	1	2	27

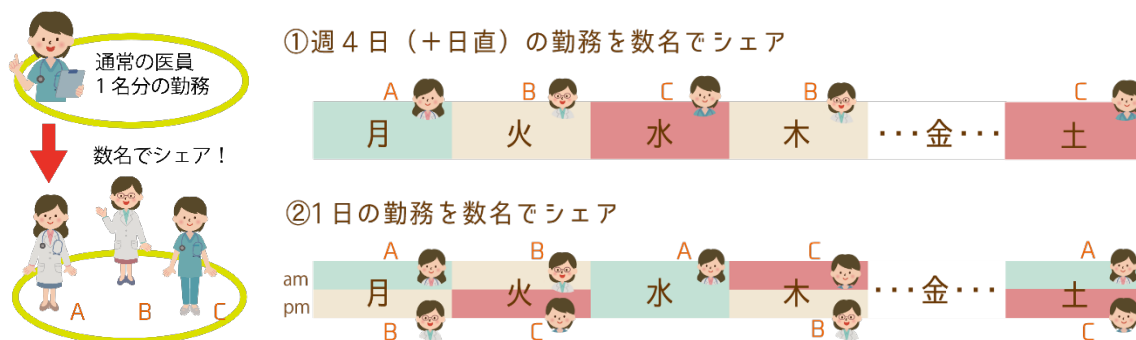
医員(医師支援枠) 利用時間の内訳 (名)

	HOP	STEP	JUMP	合計
HOP	1	0	0	1
STEP	0	1	2	3
JUMP	0	0	0	0
合計	1	1	2	4

HOP:週 15.5 時間未満
STEP:週 15.5-31 時間未満
JUMP:週 31 時間

●ワークシェアリングとは・・・

出産や育児・介護などの理由のため、通常勤務が困難な方を中心として、診療科内で医員 1 名分の勤務時間（7 時間 45 分／日×週 4 日（31 時間/週））をシェアする制度である。



利用条件	男女ともに利用可 キャリア支援制度を過去に利用した方を必ず 1 名以上含むこと ※ただし、現在キャリア支援（医員）で採用中の方は対象から除外 ※原則として、専門医取得後の医師
利用期間	利用の決定から同年度の 3 月 31 日まで（年度毎に申請、通算 3 年間まで）
募集定員	医員 1 名分（病院全体で 2 枠） ※同一診療科内でシェアすること。

2024 年度 医員(ワークシェア)利用状況

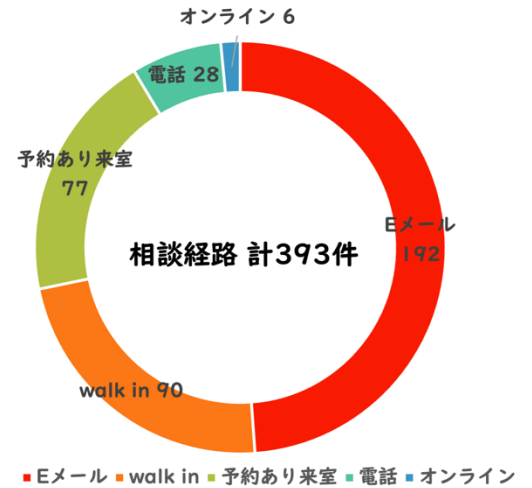
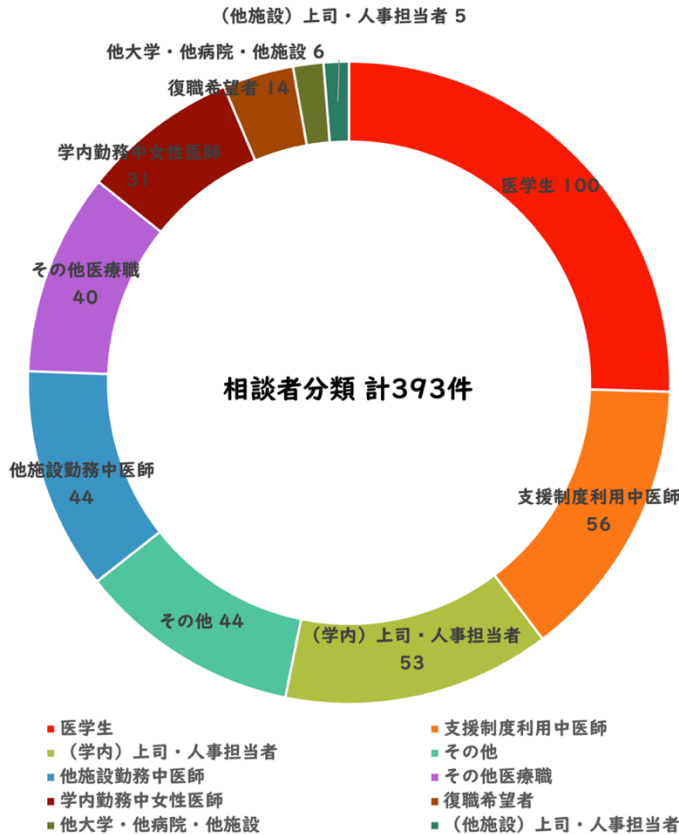
(名)

診療科名	今年度利用者 計	新規利用者	医員(医師支援枠)から移行	前年度からの継続利用者
腎臓・糖尿病・内分泌内科	3	0	0	3
総合内科・総合診療科	2	1	1	0

■2024年度相談事業報告

資料③

2024年度 職員・学生のための相談室 利用実績 (2024.4.1~2025.3.31 393 件)



岡山大学病院
ダイバーシティ推進センター

職員・学生のための 相談窓口



まずはお気軽にご相談ください。

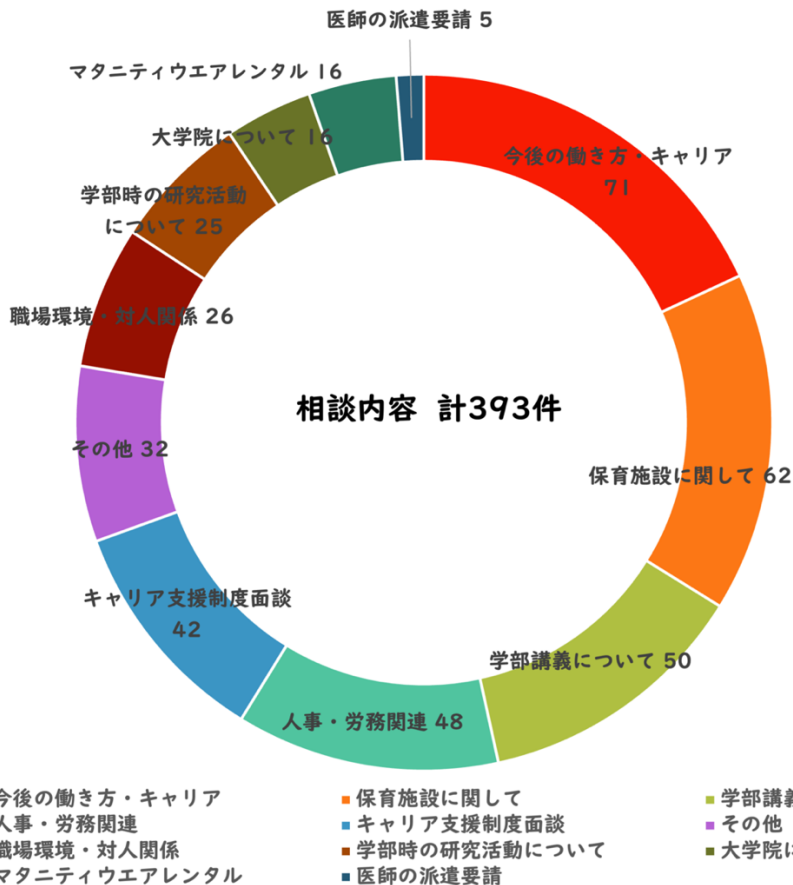
まいにちの就業や生活に関するお困りごと、ご不安なこと等ありましたら、岡山大学病院ダイバーシティ推進センターに、まずはご相談ください。専任のキャリアコンサルタントがお話をうかがいます。その上で、専門家への相談を必要とされる場合は、ご本人の同意を得て、お繋ぎいたします。

中央診療棟5F エレベーター横

岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター 相談室

e-mail: muscat@okayama-u.ac.jp

tel: 086-235-6835



第15回 岡山MUSCATフォーラム

『医療者のウェルビーイングを高めよう

～自分と仲間と患者さんの幸せを目指して～』

第15回
岡山MUSCATフォーラム
- オンライン開催 -

医療者のウェルビーイング
を高めよう
～自分と仲間と患者さんの幸せを目指して～
2024年 10/19 (土) 13:30-16:00

主催:
岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター

開催方法: Zoom配信によるオンライン開催です

特別講演
『医療現場で働く人のための認知行動療法
～自分のための時間を作る方法～』
中島 美鈴 先生
中島心理相談所 所長
九州大学大学院人間環境学府 学術協力研究員
国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部 非常勤研究員

申込方法
参加申込フォームに必要事項をご記入の上、
お申込みください。登録メールアドレスに
Zoom情報をお送りいたします。
【申込締切:2024年10月11日(金)】

お問合せ先 岡山大学病院ダイバーシティ推進センター
岡山市北区恵田町2-5-1 | 岡山大学病院中央診療棟5F | tel/fax: 086-235-6835
E-mail: muscat@okayama-u.ac.jp | https://www.okayama-muscat.jp/

共催: 岡山県医師会、岡山大学医師会、岡山大学病院看護部、岡山大学ダイバーシティ推進本部
後援: 岡山県、岡山県病院協会、岡山市医師会、山陽新聞社

日 時: 2024年10月19日(土)

開催方法: オンライン形式

■参加申込み者の内訳

職種	学内	学外	合計
医師	14	18	32
看護師	31	6	37
その他医療職	16	4	20
学生	6	0	6
教員、研究員	1	3	4
その他	1	6	7
合計	69	37	106

主催: 岡山大学病院ダイバーシティ推進センター

共催: 岡山県医師会、岡山大学医師会、岡山大学病院看護部、岡山大学病院
ダイバーシティ推進本部

後援: 岡山県、岡山県病院協会、岡山市医師会、山陽新聞社

< program >

開会挨拶	(岡山大学 病院長)	前田 嘉信 先生	
岡山県医師会からの挨拶	(公益社団法人 岡山県医師会会長)	松山 正春 先生	
岡山県からの挨拶	(岡山県保健医療部 保健医療部長)	梅木 和宣 先生	
MUSCATプロジェクト趣旨説明	(岡山大学病院ダイバーシティ推進センター / MUSCATプロジェクト 責任者)	藤井 智香子	
PIONEプロジェクト趣旨説明	(PIONEプロジェクト責任者/ 医療法人思誠会 渡辺病院 副院長)	溝尾 妙子	
特別講演	「医療現場で働く人のための認知行動療法～自分のための時間を作る方法」 (中島心理相談所 所長 / 九州大学大学院人間環境学府 学術協力研究員 / 国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部 非常勤研究員)		中島 美鈴 先生
質疑応答 & フリートーク			
表彰発表	MUSCAT優秀指導医賞 (MUSCAT Supporter Award) MUSCAT若手医師奨励賞 (MUSCAT Award)		
閉会挨拶	(岡山大学病院ダイバーシティ推進センター 副センター長)	片岡 祐子	

■2024年度ぴおーね保育ルーム運営状況報告

○院内保育スタッフによる岡山大学病院一時託児事業

ダイバーシティ推進センターに隣接する**ぴおーね保育ルーム**では、岡山市登録保育施設の認可を受け、専任の保育スタッフによる岡山大学病院一時託児事業と、外部託児事業者からの派遣シッターによる一時託児事業を行っています。岡山県内の医療機関に勤務中の女性医師、岡山大学病院で医療従事者として勤務中の方、医療系学生が利用対象です。勤務のため、お子様の一時的なお預かりが必要な時にご利用いただけます。

◇2024年度 利用実績

	学内医師	学外医師
2024年4月	6件	1件
5月	2件	0件
6月	6件	0件
7月	5件	0件
8月	7件	0件
9月	2件	0件
10月	2件	1件
11月	0件	0件
12月	4件	1件
2025年1月	3件	2件
2月	0件	0件
3月	2件	3件
合 計	39件	8件



○外部事業者委託による一時託児事業

◇2024年度 利用実績

	学内医師	学外医師
2024年 8月	0件	1件
9月	0件	1件
10月	0件	2件
11月	0件	4件
12月	0件	4件
2025年 1月	1件	1件
2月	0件	1件
3月	0件	1件
合 計	1件	15件

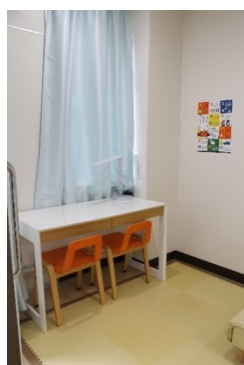


資料⑥

ぴおーね保育ルームは、子育て中の女性医療職の方々が、専門医試験やキャリアアップのための自習やオンライン受講ができる場所として、一時託児サービスを利用されない場合でもご利用いただけます。

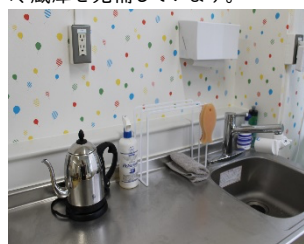


感染予防対策に 3 つの個室に分けています。



室内に専用のトイレを設けていますので、小さいお子様のご利用も安心です。

流し台、湯沸かしポット、電子レンジ、冷蔵庫を完備しています。



◇一時託児利用以外の用途

- ・妊娠中などの体調不良で勤務中に休憩が必要な場合
- ・勤務中に搾乳、授乳が必要な場合
- ・お子様同伴でオンラインセミナーやオンライン会議に出席する場合
- ・お子様同伴での相談の場として
- ・小人数でのセミナー、研修会場として



机と椅子、スタンドを用意し、Wi-Fi 環境を完備しておりますので、自習室やオンライン会議の場所としてもご利用いただけます。



お子さま連れでのご相談の際もご利用いただけます。



体調の悪い時は、ソファでお休みいただけます。
(布団一式もご用意しております。)



授乳や搾乳の場所としてご利用の場合はカーテンをご使用ください。

■2024 年度マタニティウェアレンタルサービス事業報告

岡山県内に居住または勤務される医療従事者を対象に、マタニティウェアのレンタルサービスを行っています。
2020年度からは、マタニティ白衣に加えて、利用者アンケートで多くのご要望をいただいたマタニティスクラブとマタニティパンツも加わり、お1人に各3着ずつ、無料で貸出しをしています。

◇これまでのマタニティウェア貸出実績

職種	学内(名)	学外(名)	合計(名)
医師	71	24	95
研修医	0	0	3
歯科医師	38	2	40
薬剤師	7	1	8
看護師	1	0	1
栄養士	8	0	8
学生	2	0	2
その他	5	1	6
合計	132	28	163

現在、妊娠中の医療者の方へ
**マタニティウェア
レンタルサービスのご案内**

岡山大学病院 ダイバーシティ推進センターでは、妊娠中の医療者の方にマタニティウェアの貸し出しを行っています。ご希望の方は裏面の申込み用紙にご記入の上、お申し込みください。
貸し出し用は1種類につき3着セットでお貸しします。

マタニティ白衣
病院の業務に使用できる白衣を
貸出するとともに、サイズ
調整可能な着用が可能な
タプル付です。お貸し出しの
際には、お申し込みください。

2種類のサイズをご用意しています！
サイズ 身長 バスト 袖長 袖口
S 90 112 38 51
M 95 116 39 51

マタニティスクラブ (新たに追加しました！)
胸元や袖口などでも着用
可能なスクラブ。
お貸し出しの際には、
お申し込みください。

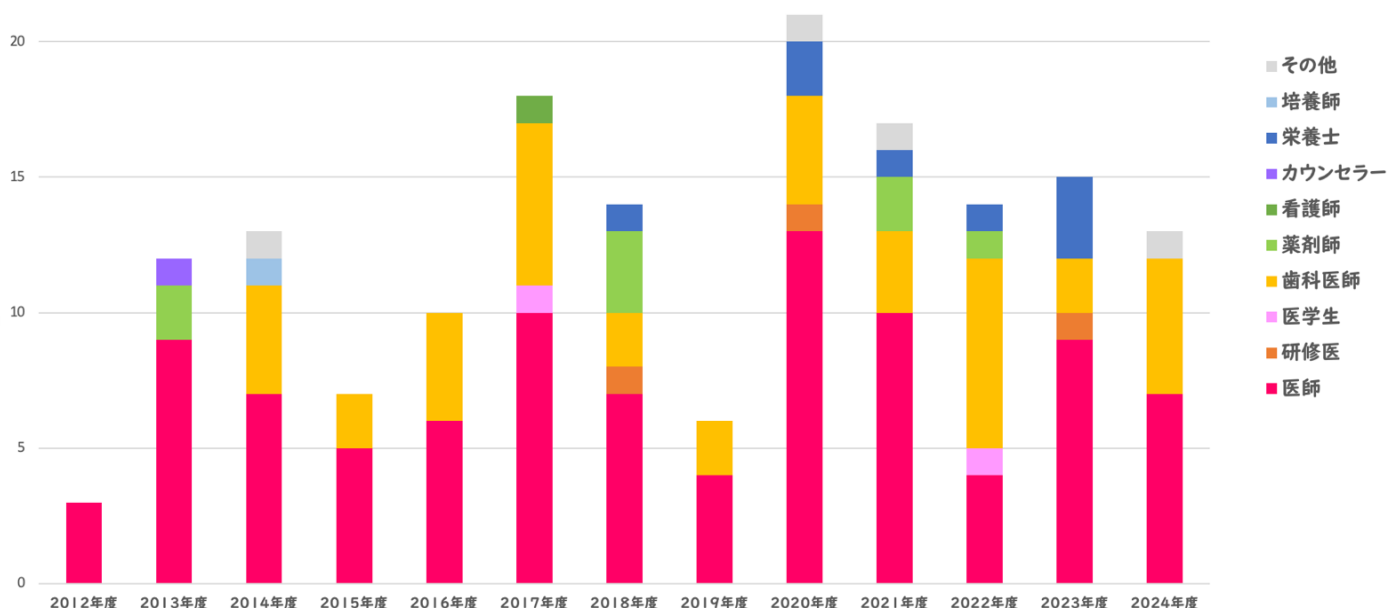
2種類のサイズをご用意しています！
サイズ 身長 バスト 袖長 袖口
M 78 104 41 21
L 80 107 43 22

マタニティパンツ
ウエスト部分がゴムで
調節可能！
お貸し出しの際には、
お申し込みください。

2種類のサイズをご用意しています！
サイズ 身長 バスト 股下 股上
M 85-100 102 27 68
L 95-110 112 28.5 70

お貸し出し、お申し込みは
岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター
Tel/Fax 086-235-6835 E-mail: muscat@okayama-u.ac.jp

年度別職種別貸出数



■岡山県北部地域における医療人支援報告

資料⑧

県内でも特に医師不足とされる新見地区では、看護師や医師以外の医療職による初期対応が重要となります。そこで新見市内医療機関の医療従事者向けに、急変時対応や不安定患者への対処法を確認する実践的なシミュレーショントレーニングを定期的に開催し、技能の向上と多職種連携の強化を図っています。また岡山大学で開催される最新医療の講義を遠隔システムを用いて新見地区でもリアルタイムで受講するコースや、都合に合わせて利用できるe-learning（WEB による講義の録画配信）を企画し、技能面・知識面の両側面で地域で働く医療者をサポートしています。

2024年度 PIONEプロジェクトによる活動一覧

開催日時	セミナー名	会場	対象	講師、ファシリテーター	テーマ等	参加者
2024年 7月20日（土）	第22回シミュレーション トレーニングin新見	新見公立大学 地域共生推進センター棟4F シミュレーション室	新見市内近郊の介護 施設職員 （看護師、介護士等）	・万代康弘医師 （東京慈恵会医科大学附属病院 救急部 講師） ・溝尾妙子医師 （医療法人思誠会 渡辺病院 副 院長） ・新見市内に勤務する看護師	急変対応の シミュレーショントレーニング	看護師3名、 介護士7名 計10名
2024年 11月9日（土）	シミュレーション トレーニングin新見 指導者養成コース	新見公立大学 地域共生推進センター棟4F シミュレーション室	新見市内の医療従事者 （職種問いません）	・万代康弘医師 （東京慈恵会医科大学附属病院 救急部 講師） ・溝尾妙子医師 （医療法人思誠会 渡辺病院 副 院長） ・新見公立大学 健康科学部 看 護学科・地域福祉学科教員 ・新見市内に勤務する看護師	指導者養成コース	看護師計7名
2024年 11月24日（日）	第2回新見子ども メディカルラリー	新見公立大学 地域共生推進センター	小学4年～6年生 1チーム3-4人	【共催】 ・新見公立大学地域共生推進セ ンター ・新見市健康医療課 ・新見市消防局 ・新見市養護教諭の集い ・新見市ドクターネットワーク ・岡山大学病院ダイバーシティ 推進センター 【後援】 ・新見市教育委員会 ・新見医師会	心肺蘇生法、119番通報、応急 処置について実践しながら学び ます。学んだことを活かして実 際の救急現場を再現した場面 で、ケガをした人や倒れた人 （模擬患者さん）に各チームで 力を合わせて的確な対処ができ るか挑戦し、チーム力、対応力 を競います。	新見市内の 小学生14名 ボランティア 53名（内、 学生22名）
2024年 12月21日（土）	第23回シミュレーション トレーニングin新見	新見公立大学 地域共生推進センター棟4F シミュレーション室	新見市内近郊の看護師 （経験年数問いま せん）	・万代康弘医師（東京慈恵会医 科大学附属病院 救急部 講師） ・溝尾妙子医師（医療法人思誠 会 渡辺病院 副院長） ・新見公立大学 健康科学部 看 護学科 教員 ・新見市内に勤務する看護師	急変対応の シミュレーショント	看護師 計9名

